



患者さんを治すために、
自分のエネルギーを使
い切ってしまうという事が
あります

治療をする立場の者が
体を壊すなんて、と
思われるかもしれません

食べ物を受け付けない

体中が冷えきつて
戻らない
低体温も下して
いるし

自らの体調を崩してしまったのです

「これが
「氣の枯渇」
というやツか

それが
巨大大陸で使われている
モグサ灸です

けれど
この時、奇跡的な
「出会い」がありました

宿命か
治療家の

仕方ない

大げさではなく
死をも
覚悟しました



けれど、この
巨大モグサ灸は
とにかく大きさが違う



巨大モグサ

従来の
モグサ

米粒大ほどのものを
置いていく方式

通常の、日本で
行われている
「モグサ灸」といえば

すごい
これ：

これを丹田
(体の中心のツボ)に
置く

枯體の中心の
渴しが一いつた
再び湧き上がる
のが分かるつて

近力状瞑想して
いるこんなに
づんタんに
けるなんて

すごく
気持ちがいい
氣体がリラックスして



これだ！

求めが
これなんだ！

この巨大モグサ灸が
効果をあげやす
く改数な改良を重ねて

つた
今の形に
きまりました

リングタイプ

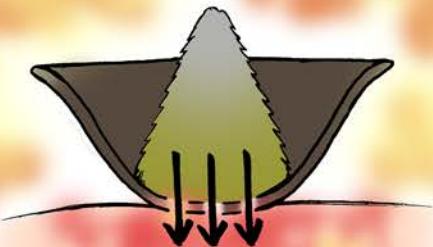


器タイプ

特殊なセラミックの
器具を使つて温め
ます

通常より
大きなサイズの
モグサを

だらう 木^木セラ療法 (温熱)+(セラミック)



特殊セラミックの
器具を使うことによ
りさらに高まるのです

モグサ灸の
遠赤外線効果が
持つてある



(従来の温灸)

もちろん
モグサが直接肌に
触れないので心配も
ありません



